

# 寺報

No.587

平成28年7月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

ただ女房と酒うちのみて南無妙  
法蓮華經と唱へ給へ、苦をば苦と  
悟り、樂をば樂とひらき、苦樂共  
に思い合わせて南無妙法蓮華經と  
うち唱へ居させ  
給え。

『四條金吾殿御返事』



乾杯

### (解説)

日蓮大聖人は、当時の宗教者としては画期的な発想をする方だったのでしよう。

お酒を禁じるのではなく、ほどほどに、そして奥さんと一緒に仲良く飲まれるならば、それは素晴らしい事であり、更にそこにお題目による信仰心が加われば、必ずや夫婦円満の家庭が築かれるだろうと教えられました。

我々人間は様々な因縁によって生じたわけですから、今後も『苦』や『樂』が訪れるでしょう。

しかし、その時この夫婦のように強いキズナがあったならば、例え苦しい時でも、苦から逃げずに、それを逆に生きがいとして受け止め解決していく事が出来るのです。

つまり、苦も樂も我が人生として、苦樂を超越する事で、安心した仏様の世界が築かれていくのです。どうか、皆様も法華經・お題目をしつかりと心のきさえとして、生きていきましよう。

そして、お酒は薬酒としてお飲み下さい。

# 鬼子母神大祭

七月二日(土)

午後六時半より

法話：日蓮宗青森県宗務所々長

八戸・妙現寺 住職

秋田 堯瑛 上人

\*『鬼子母神』様は「家内安全」「身体健全」「子孫繁栄」「安産成就」等を叶えます善神です。

\*小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方は必ずご祈願、ご参拝下さい。

④ご祈祷がありますので、どうか法要の開始時間に合わせてご参拝下さい。

また、法要終了後の「法話」も必ずご聴聞下さい。

鬼子母神



## お知らせ

【一般御祈願】・・・千円(読み上げ・お札)  
皆様の「家内安全・身体健全等」、また子供さんお孫さんの「発育増進・安産成就等」の御祈願、読み上げをします。

【特別御祈願】・・・二千円(読み上げ・木札)  
御祈願の仕方は一般と同じですが、長さ一尺(約三十センチ)の木のお札が付きます。

【一般御法楽】・・・千円(読み上げ・お札)  
皆様のお名前を読み上げまして「鬼子母神様」をご法楽(法華経を以て神仏に楽しんで戴き、また自らも徳を積むという意味)します。

【特別御法楽】・・・二千円(読み上げ・お札)  
各家庭にお祀りしています「鬼子母神様」の御尊像と掛け軸を、大本堂の御寶前にお祀りし、僧侶全員にて読経・ご祈祷し、お名前も読み上げます。  
どうぞご持参下さいますように、お願い致します。  
尚、当日お参りの出来ない方は、前以てお寺にお預かり下さい。

## 鬼子母神様

現在は医学の発展と共に、幼児の死亡率が低くなつていますが、昔は死亡率が非常に高くて、我が子の無事成長を祈る親の願いは切実なものだったと思われま

す。  
その為に、我が子が順調に育ちますようにと、鬼子母神様に親となつてもらい、子供を預ける「取子」という信仰が盛んに行われていました。

当山でも、数多くの方の子供さんを鬼子母神様にお預かりし、毎日発育順調の祈願をしておりました。  
最近も信仰心の篤い家では、代々続けていきたいという事で、お寺にお願いに來ています。

鬼子母神信仰で特に有名なのは、千葉県市川市中山にあり、毎年日蓮宗大荒行堂が開かれます、祈禱根本道場『法華経寺』です。

ここは、日蓮大聖人が『小松原の御法難』にあわれた時、大聖人の現前にあらわれ、命を助けてくれました鬼子母神様で、その時感得されましたお姿を大聖人自らが彫刻され、弟子にその後の信仰を託されたという

鬼のお姿をした『鬼形鬼子母神』様がお祀りされているお寺です。

このように日蓮宗では、鬼子母神様を法華経擁護の善神の代表として代々大切にお祀りしてきました。

当山の中でも特に熱心な檀信徒は、鬼子母神様のお姿(ご神体)や掛け軸などを、ご自宅にお祀りし大切に信仰してきたのです。

また、実際お姿をお祀りしていなくても、日蓮宗の御本尊の『大曼荼羅』には必ず勧請されていますので、我々は知らず知らず毎日、鬼子母神様に手を合わせ

て拜んで來ているのです。  
でも中には、先祖代々お祀りしました鬼子母神様を、勝手な理由を付けては「もういりません」などと言いつ納めたりする人達もいます。

今まで、お子さんお孫さんを守り続け、また家内の安全、身体の健全、因縁罪障の消滅とお力を戴きました恩を我々は決して忘れてはいけません。

どうか蓮華寺の檀信徒の皆様は、日蓮大聖人の教えを良く守り、今後も鬼子母神様を大切にしていって欲しいものです。

# 檀信徒研修会のお知らせ

七月二十三日(土)

## 『聖典の読誦と唱題行』

担当・・・住職上人

\*聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂「イスや安座にて結構です」

持参品：聖典(事務所にて)・数珠・団扇太鼓

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

\*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。



# ☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。

秘密厳守ですので、どうぞご安心下さい。

霊断は必ずご予約下さい。

☎776-5840

【相談料は原則として一件三千元となります】

# ☆霊神符を持ちましょう!

最近は何もない事故・事件・災害が多発していますが、特に、子供さんやお年寄りが多く巻き込まれているようです。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、素直に毎月『霊神符』(お守り)を肌身離さずお持ちになりますようお願い致します。



【二体・百五十円】

# 畳のへりを踏んではダメ

最近の住宅は西洋化してきまして、畳の部屋がほとんどない家が増えてきました。

かろうじて、仏間だけが畳が敷かれているのが現状です。

さて、昔よくお年よりから「畳のへりを踏んではダメだ」と言われましたが、これは何故でしょうか。

それには二つの説があります。

一つは、『武家礼法』という教えの中に説かれています。

昔は武家社会なので、いつ敵から襲われるかも分りません。

もし、畳のへりをうっかり歩いていたりすると、床下に隠れていた忍びの者が、そのすき間から刀を突き上げてくるかもしれません。

だから、畳のへりを踏んでいては危険であるという教えであります。

しかし、この説は『食べてすぐ寝ると牛になる』というのと同じで、子供のしつけの為に忍者を引き合いに出した俗説と言われています。

もう一つの説は、自分の境界を大切にされる為の儀礼ではないかというものであります。

畳の歴史は古く、奈良時代にはもう使われていた模様です。

ただ、その頃の畳はいわゆるウスベリであって、人はその上に座り、またその上で寝て、使わない時はタタんで部屋のすみに重ねておいたようです。

そこから『タタミ』という名前がついたと言われています。

つまり、畳一畳が人ひとりの生活空間だったのです。

その後、平安時代を経まして室町時代になりますと、建築用法が変わり書院造りが生まれました。

そうなりますと、畳は段々厚くなり、タタマずに床いっぽいに敷き詰めるようになり、その部屋を座敷と呼ぶようになったのです。

しかし、畳一畳が人間ひとりの生活空間である習慣には変わりがありませんでした。

結局、畳のへりは当時の人にとっては、大事な最小空間の境界であったという事なのです。

こう見てきますと、どうも後者の説の方が理にかなっているようです。

### 『位牌壇』募集中!

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

### 『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### お寺のお勤め

- ◎『盛運祈願会』(一日) 午後一時より
- ◎『日蓮大聖人ご報恩会』(十三日) 午後一時より
- ◎『朝のお勤め』(毎朝) 午前六時半より
- ◎『龍神様・七面様』の日(十九日) 朝のお勤め中
- ◎『最上稻荷様』の日(二十二日) 朝のお勤め中
- ◎『鬼子母神様』の日(二十八日) 朝のお勤め中
- ◎『大黒様』の日(甲子の日) 朝のお勤め中

ご自由に参拝して下さい!



### 八月

#### お盆の柵経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の供養の為に柵経を八月の十四日より十六日まで『旧市内』、十七日より二十日までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家さんを回っております。

一週間で回れる軒数は、僧侶の人数の関係から限られてまいります。

特に最近では、市内の環境や道路事情により新市内の檀家が増え、十七日以降の柵経のご依頼が多くなつてきています。

しかし、十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行う状況から、あまり多くの家庭は回れません。

そこで、当山では柵経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、柵経をご希望の方は、お早目にお申込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

なお、例年通りの日時にお伺いする方は、そのままです。

どうかご協力をよろしくお願い致します。

### 新たに蓮華寺の檀家を

#### 希望する方へ!

新しく『廣布山蓮華寺』の檀家になりたいと希望する方は、特別の手続きなどはありませんので、入檀の誓約書を書いて戴き事務所までお申し込み下さい。

いつでも登録出来ます。

その際に献金はなく、当山を維持運営します護持会費(年六千円・上限はなし)のみを納めて戴きます。

また他宗から改宗する場合も、同様ですのでご安心下さい。

日蓮宗に改宗する場合は、必ず戒名を変えて戴きますが、その際も無料で普通戒名を授けております。

しかし、それ以上にご希望がある場合は、お寺にご相談下さい。

ただし、ご本尊(大曼荼羅)・日蓮大聖人のご尊像・過去帳・仏具などの必需品は、各家で実費でそろえて戴きます。

現代は信教の自由が保障されていますので、ご自分の意志で信仰したい宗派を決める事が大事でしょう。

# 七月の行事

- 一 日(金) 『盛運祈願会』 午後一時より
  - ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
  - ・ 必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きましよう。
  - ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
  - ・ 蓮華寺檀信徒は必ずお守りを持ちましよう。



二 日(土)

## 鬼子母神大祭

午後六時半より

二 日(土) 【鬼子母神小祭】

朝のお勤め中

十三日(水) 『日蓮大聖人ご報恩会』 午後一時より

- ・ お経 (如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み))
- ・ 日蓮大聖人様へのご報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経とお題目を唱えましよう。

二十三日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

## ☆奉仕のお知らせ

二 日(土) 『鬼子母神大祭』のお手伝い

・ 教宣部男女 午後三時より

三 日(日) 『鬼子母神大祭』の後片付け

・ 教宣部男女 午前十時より

※ 『鬼子母神大祭』は大行事ですので、準備、後片付け等が大変です。

※ 部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春  
教宣部長・杉淵昌三

## ☆『十三日のお勤め』

### に参拝しましよ！

## 毎月 午後一時より

- ◎ 十三日は、日蓮大聖人の大切な月ご命日の日です。
- ◎ 「十三日のお勤め」のお経練習用に【CD・カセットテープ・お経本】を事務所にて販売しています。